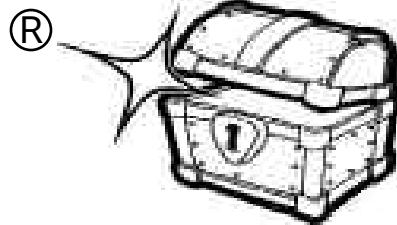


なかま ぼっくす



情報番号 9 5 7 4 #

発行番号 h p -4-6/98

ザロンを使用したアイデアテクニック集

ザイロン活用集 (4・1)

この情報は、情報番号8850#や1250#で紹介の掲示物作成機「ザイロン」を使う上で、知っていると便利なノウハウと共に表示関係する資料や話題を「なかまぼっくす」FAX情報から提供して、表示や掲示のコスト削減や安全を図る目的で、有限会社バンセイが独自に行う顧客サービスです。

今、ご覧の情報は、ザイロンをご使用頂いている皆様から寄せられた内容も含め、加工上のテクニックと変わった用途やアイデアなどを公開してあります。また編集内容は紙数などの関係から既にザイロンをご使用の方を対象に説明してありますので、詳細説明などのお問い合わせは、バンセイまで、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

また、読者の皆様からも「この様な使い方もできる」などのノウハウをご提供頂ければ、情報内容が更に豊富になり「必要な時しか使わない」が「アレもコレもザイロンで作る」になり、お互いの情報を生かした用途拡張ができますので、是非ご協力下さい。（掲載採用の方には、薄謝として図書券を進呈致します。）

ザイロンは、一台で色々使えます。

その中で以外と応用範囲が広いのが“片面ラミネート加工”です。

例えば、情報番号9571#で紹介した片面ラミネート加工は、紙などの“強度を増して”荷札の様な使い方に応用するなど、従来では大量ロット注文でないと絶対に製作できなかった、小さな荷札一枚だけでも、身近にあるコピー用紙などごく普通の素材を利用して自分で簡単にスグ作る例などです。

今回は、2ページ解説図で説明の片面ラミネート加工で“袋状の加工をして利用する”アイデアとテクニックについてです。

しかも、袋状だから封入する物によっては、例示の通り意外な新しい用途が開けます!?

また、封筒や親展ハガキ作りもOK!と言うことは、封筒の在庫が切れたので急いで作りたい!とか、銀行などから届く様な親展ハガキを格好良く作りたい!

・・・などの他、ザイロン本来の用途である表示や掲示物を作成するだけではなく「袋状に加工して利用する」つまり、本来の使用目的から外れた使い方ではなく、発展的な応用例の紹介です。

封筒の在庫が切れた!!

良くあることですが、こんな時スグ思い浮かぶのは「パソコンでラベルのデザインしてザイロンで加工」するのが、最も簡単ローコストで素早い対応方法と言えます。

しかし、市販の封筒にラベルを貼っただけでは、如何

に良いデザインのラベルであっても「張り子の虎」ならぬ「貼って間に合わせの封筒」に思われるのでは・・・と、ご心配なら?

そこで、為せば成るな～んて大袈裟に構えないで、解説図の通りザイロンでクルクルで全て解決します。

(1) 封筒や親展ハガキ作り

解説図または、情報番号106#の配布見本で解説の手順にある封筒として耐える強さとノリ付けできる材質の紙であれば、用紙は何でも使えます。

むしろ折角作るのなら、余所のない特徴を付加するなどして、デザインや素材に凝ってみては如何でしょうか?

ザイロンは、カートリッジをセットさえすれば調整も技術も必用ありませんので、どんな加工もハンドルをゆっくりクルクルと廻すだけです。

但し、加工する封筒の大きさと仕上がり厚さが2.5mmを超えない様にご注意ください。

なお、解説図のザイロンで加工した時に封筒に入れる物の厚さが0.5mmを超える場合は、左右のカット部分が良く接着されませんので、のフィルムカット前に、指で押さえるなどしてしっかり接着しておきます

また、裏面(ラミネートした面)に写真や絵などを貼る場合は、加工するとき貼付面が下向きになりますので、剥がれたり、ずれたりしない程度に糊やテープで固定しておく必要があります。



用紙をカットするには、碁盤目盛の付いたカット用定規を使うと作業がし易くキレイにできます。

私製の封書やハガキとして製作する場合は、必ずポスタルガイド(郵便番号簿)などに記載の郵便規格を良く確認してからデザインして下さい。特に、郵便物の大きさと重量には十分ご注意下さい。せっかく、苦勞して作った封筒やハガキが、郵便規格を外れたために料金が高くなったり、それを知らずに郵送してしまうと受け取る方に迷惑をかける事になります。また、受け取る方に気配りするなら、の開封時のカット時にハサミを使わずに済むように、切り取り枠部分を

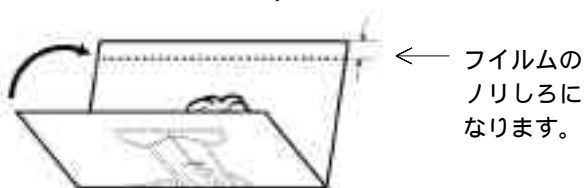
“ミシン目カッター”で切り取りミシン目を加工しておくのも思いやりの一つです。

なお、封筒やハガキとして多く作るなら、用紙の所定の位置に郵便番号枠やリターンアドレスを始め、会社のマークをプリントやコピーしたものを重ねて、紙をきちんと揃えてステッパラーで綴じて製本するなど、固定してからのカット加工をすると能率的です。

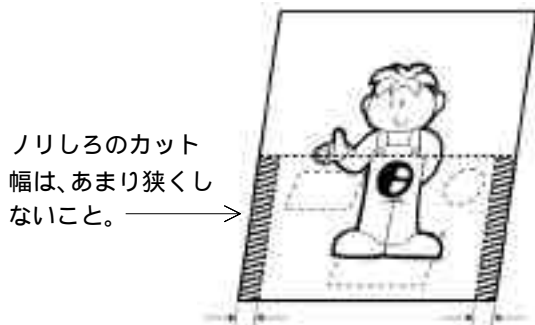
そして、二つ折りする部分には、前もって定規などで筋入れしておくとう仕上がりが綺麗にできます。

ザイロンの片面ラミネート加工を利用して、封筒などを袋状に加工の応用例

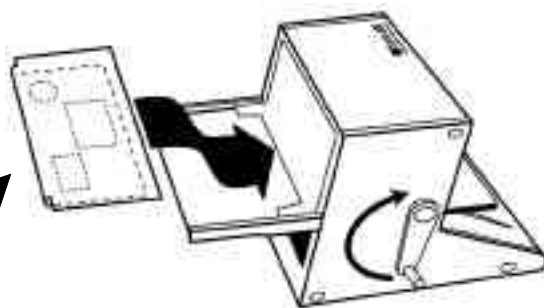
紙の上部を5~7mm位ずらして二つ折り。
(裏と表が異なる色の紙を使うと、切り取り枠がハッキリとできます。)



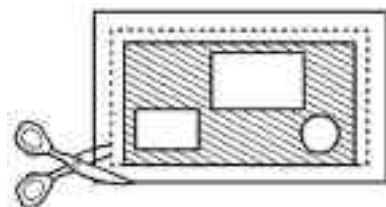
二つ折り下部の左右を 同じ幅にカット。
(親展ハガキならここで文章を書いたり、絵ハガキなら裏面に写真を貼ったり絵をかくしておく。)



カットしてある側を下にして、片面ラミネート加工にセットしたザイロンに挿入。
(封書や袋とする場合は、加工前に封入する物を挟んでおく。加工後は、やり直しができません。)



ザイロンでクルクルして片面ラミネート。
(周囲の余分なフィルムをカットして出来上がり、紙を二つ折りした部分は丁寧に仕上げてください。)



封書でもカードでも世界で唯一のモノ完成。
(開封は、コの字形の切り取りに沿ってカットします。ミシン目カッターを付ける場合は、紙が二枚重なっている部分に切り取り線を入れます。)

この他の加工例や資料は「なかまぼっくす」FAX情報サービスから提供しています。

(2) 裏面に写真や絵を貼ると、

今まで、絵葉書のように裏面に写真などを貼り付けると、折角の写真や絵が郵送中に傷ついたり汚れたりする心配がありましたが、片面ラミネートで問題解決です。

また、親展ハガキとして作成した場合も閉じられた中の手紙は、切り取らない限り開封できませんのでプライバシー保護が万全です。

なお、絵葉書などとして利用する場合は、写真などを糊や両面接着テープなどで部分的に固定しておく必要があります。これは、片面ラミネート加工時はラミネート面を下向きにして挿入しますので、ズレや剥がれ落ちを防止する為に必要な作業です。

(3) ちょっと凝ったカード作りに、

バースディやクリスマスカードなど、時間と愛情をこめて作る、いわゆる“凝ったカード”などを作る時には、ザイロンが大活躍します。

それは、ザイロンのカートリッジを取り替えるだけで、6通りの加工ができるのですから、受け取った人も「どの様にして作ったの？」と「想像」する楽しみまでプレゼントできます。

凝った作品の一例として裏に片面ラミネートして補強した薄い布地のベースに、押し花と切り絵を配して、更に薄い和紙に糊付けしたものでカバーした作品や、手作り名刺やハガキに押し花を付けてラミネートした例もあるなどの他、飛び出す絵本の様に開封すると絵が立体的に持ち上がる作品などにも利用されています。これは、折り曲げたり動く部分の部品の裏面にラミネートすると、紙だけではできない強度が得られて大きな動きなどを表現できるからです。

(4) 保管や管理用の袋

写真のネガフィルムとプリントの見本や機械の部品とその説明書などの様に、袋に入れた物とその内容を分かり易く識別管理したい物は、とても多くあります。

この様な用途では、2ページ解説図の袋作りに用いる用紙の準備時点で、写真のプリント見本や説明書の様にそのまま表示するなら下半分のラミネートする面に、また、後で記入や捺印欄が必要な物は、残り上半分の配置になるデザインで製作しておきます。

(5) ザイロン特製“匂いカード”

名刺やハガキを使った匂い袋ならぬ匂いカードの作り方です。用意する物は、カードの台紙となる名刺やハガキとポプリなどの香りの素、そして片面ラミネートのカートリッジです。

作り方は簡単

台紙となる名刺などの裏面にスティックタイプの糊で、簡単な文字や絵を書くか適当にベタ塗ります。

糊が乾かないうちにポプリを細かに砕いた物を糊の上にふりかけるか、花びらや葉を使って貼り絵をします。

糊が良く乾いてから、余分なポプリを振り落とし、紙などを当てて強く押しつぶします。

ポプリを貼った面を下にして、ザイロンで片面ラミネート加工して周囲を綺麗にカットすると、裏面のポプリでデザインした面は、ラミネート保護され表面から香り漂う匂いカードの出来上がりです。

(6) 薄い部品や商品の陳列に

厚さ2ミリ位までの薄い物なら、透明な薄いフィルムなどで包むか、袋に入れてから陳列用台紙を重ね合わせて片面ラミネートすると陳列用のパッケージができます。

この場合、製品に糊が付かないように薄いPPフィルムなどで包むなどして、製品にラミネートの糊が付着しない様にするのがポイントです。

なお、製品の周囲は厚さの違いでフィルムが接着されませんので、ザイロンで加工後に周囲を指などで押して仕上げる必要があります。

(7) ポケット付きカタログディスプレイ

これは、販売店などで商品の説明書やカタログに、プライスカード組み合わせて掲示したい場合や、CD-ROMを添付して配布するカタログ製作などに役立ちます。(情報番号9577#に関連資料があります。)

掲示用の説明書に組み合わせるプライスカードが入る大きさの透明なビニル袋を用意します。

CD-ROM添付用として加工するなら、CD-ROMに付属の袋を利用します。

説明書表面の所定の位置にビニル袋の一部分を両面テープか接着剤で固定します。

ザイロンでビニル袋を貼り付けた側を下にして片面ラミネート加工をします。

加工後、プライスカードの差し込み口を丁寧にカットナイフなどで切り開きます。

これで、タイムサービスや状況に合わせた価格変更も、プライスカードの差し替えで自由自在です。

・・・しかも、見栄え抜群です。

*以上、ザイロンの活用例の一部、お役に立ちましたでしょうか？この他にも面白い変わったザイロンの使い方編集集中です。次回情報をお楽しみに。編集部

？買いたいが・・・どう使えるのか分からない！
？機械を買ったが・・・新しい情報が得られない！
？使っていたが・・・転用・活用など発展性がない！

『なかまぼっくす』だからゼーンブ解決！

ザイロンで加工した実物見本を提供中です。

ザイロンをまだお持ちで無い方に、この情報をご覧になりながらお試し頂くための見本を用意してあります。

ご希望の方は、情報番号106#の申し込み用紙を取り出し「9574#の見本希望」と記入してお申し込み下さい。

「なかまぼっくす」FAX情報のアクセス番号は、

・・・・・・03-5751-7070です。